

令和5年度 学校経営の方針

福島市立蓬萊小学校

1 基本的な考え方

- ① 地域に根ざし、子どもたち一人一人の成長を保証するために、社会に開かれた教育課程を推進し、豊かな未来につながる夢と希望を育む学校経営を推進する。
- ② 子どもが豊かなかかわり合いの中で、「社会で生きる学び」を習得するとともに自らの成長を実感し、なりたい自分になることを全力で応援する学校を目指す。
- ③ 「夢と希望にむかって、みんなが笑顔あふれる蓬萊小をともに創る」を理念に、すべての子どもの「可能性」を信じ、それを伸ばす教育活動を地域や保護者、教職員が一体となって展開する。

2 教育目標

「認め合い 学び合い 高め合う 子どもの育成」

めまぐるしく変化する社会の中でたくましく生きるために、他者と協働しながら、新たな学びに主体的に向かい、自他ともに高め合うことをとおして、自己実現を支える力を育む。



すべての子どもの「可能性」を信じ、子どもたち一人一人の成長を保証する

教職員が一丸となって「みんなを育てる」学校力

教育のプロとしての見取りに裏付けられた 個に応じたきめ細やかな支援
健やかな心身を育てるための連携協働による子どもを取り巻く環境の整備

3 令和5年度 重点目標

- 認め合う力 ⇔ 人間関係力 〈心〉
- ◎ 学び合う力 ⇔ 主体的探究力 〈技〉
- 高め合う力 ⇔ 自己指導能力 〈体〉

将来にわたり「自己実現」を支えるための資質能力（上記3つ）の中で、令和4年度に引き続き、「学び合う力 ⇔ 主体的探究力」の育成に重点をおく。

めざす子ども像

「互いを認め合える子」
「自分の考えをもち学び合う子」
「粘り強くともに高まる子」

教育目標に照らし、将来にわたり自己実現を支える力を兼ね備えた子どもを育む。

めざす学校像

「子どもが学びと成長を実感できる学校」
「活気があり夢と希望にあふれた学校」
「地域に根ざし親しまれ信頼される学校」

課題意識を持ち、眼前の子どもに必要な将来に通じる力を身につけさせる。

○積極的な生徒指導の推進

- ・自己有用感 自己肯定感
- ・他を認め、思いやる態度の育成 連帯協働感

○地域に根を張り、関係力の獲得

- ・地域学習の推進→地域人財 地域教材の活用
- ・学びの連続性をもった体験学習の推進

○自ら課題探求に向かう

- ・逞しさの育成
- ・全教育活動における学びの集団づくりの推進
- ・全教科にわたる主体的な学びの醸成
- ・自己目標の醸成、粘り強さ達成感の享受

めざす教職員像

「地域に根ざし、子どもたちを愛する教職員」
「自ら課題を持ち、常に研修に励む教職員」
「地方公務員としての自覚と誇りを持った教職員」

1. 危機意識を常に持ち、積極的に学校管理・運営に参画する

○危機管理体制の確立

- ・情報収集と組織対応
- ・報告連絡相談の徹底 チェック体制の確立
- ・早期発見、早期対応 未然防止

○経理、文書事務の適切な執行、管理

- ・合理的で正確な文書処理
- ・配当予算の費用対効果を勘案した適切な執行

○校地校舎施設設備の適正な保持管理

- ・公共財産の適切な管理
- ・品格のある美的な教育環境

2. 教育公務員として自覚と誇りを持ち、人間性・社会性豊かな組織人たる。

○質の高い教職員集団

- ・自己研鑽と自己啓発 セルフコントロール
- ・人事評価制度による自己目標 手立て 自己評価

○組織力を生かした校務運営

- ・速さ（早さ）と質の高い職務の遂行
- ・校務分掌の正しい理解と創造性豊かな企画運営
- ・リーダー及びフォロアーシップ チームワーク

○倫理意識の高い、信頼できる教職員

- ・事故、不祥事の絶無
- ・教職員としてのモラル 高い倫理観